

## 新竹下合格講座 使用テキスト

多くの合格者が支持する、  
情報集約・知識整理ツールの決定版！  
「新版デュープロセス」とも完全連動！

# 直前チェック 試験に出る論点総まとめシリーズ

【竹下貴浩著 早稲田経営出版】

本書は出題頻度の高い重要論点を、各科目、テーマごとに問いの形で掲載し、その答えの形で具体的に解説しています。各テーマの終わりに過去問での実際の出題例を載せており、実戦問題にすぐ取り組むことができます。直前期にその真価を最大限発揮するため「直前チェック」という名称を採っていますが、重要な論点をまとめた論点集として、学習初期段階から活用することが有効です。



※装丁は変更となる場合がございます。

第1部 テーマ2 法律行為の意義、有効要件、無効及び取消し

**テーマ2 法律行為の意義、有効要件、無効及び取消し**

**チェックポイント**

【法律行為全般】

1. 法律行為の意義をいえ。

(答) 意思表示を中心的な要素とし、人が一定の法律効果を生じさせようとする意思に基づいてする行為のこと。

2. 法律行為にはどのようなものがあるか。

(答) 単独行為、契約(双方行為)、合同行為がある。

3. 法律行為の成立要件をいえ。

(答) ①当事者、②目的、③意思表示が存在すること。すなわち、ある当事者が、ある目的をもって意思表示をすることによって、法律行為は成立する。

法律行為の一般的な

6. 4の②の要件を満たさない法律行為の意義及び効果をいえ。

(答) 4の②の要件を満たさない法律行為とは、当該法律行為の目的が適法でないか、または社会妥当性を有しないということである。目的が適法でない法律行為とは、強行規定に違反する法律行為という意味であり、強行規定に違反する法律行為は無効である(民891の反対解釈)。目的が社会的妥当性を有しない法律行為とは、当該法律行為が公序良俗に反するというものであり、公序良俗に反する法律行為は無効である(民890)。

7. 4の③の要件に関し、意思表示につき、意思と表示とが一致しない場合のことを、(①)といい、民法は、(②)の3つをその類型として規定している。

意思の欠缺、②心裡留保(民893)、消滅時効

**思考パターンを修得!**

各ポイントは「問い」とその「答え」の形式になっているので、試験で要求される思考パターンが修得できます。

**重要項目を確認。知識の定着に有効!**

「チェックポイント」では過去の本試験で出題された論点、今後出題が予想される論点をテーマごとに掲載。重要論点が一目でわかります!

**学習進度、理解度の管理ができる!**

「チェック欄」に理解度をチェックできるため、学習進度や理解度の管理ができます!

第1部 テーマ2 法律行為の意義、有効要件、無効及び取消し

**参考過去問**

1. 甲が真意では買ひ受けるつもりがないのに乙から土地を買ひ受ける契約をした場合において、乙が注意すれば甲の真意を知ることができたときは売買契約は無効である(3-8-A)。

チェックポイント10参照。

2. 民法第94条第2項の規定によって保護される善意の第三者からの転得者の地位について、次の二つの考え方があり、後記アからオまでの記述は、その一方の考え方から他方の考え方に対する批判である。各記述における「この説」が第1説を指すものはどれか(12-4改)。

第1説 善意の第三者が絶対的・確定的に権利を取得するので、転得者は、通謀虚偽表示について悪意であっても、有効に権利を取得する。

第2説 処分行為は、第三者ごとに相対的・個別に有効に権利を取得する。虚偽表示については、

**本試験レベルの問題で理解度を確認!**

テーマごとに「参考過去問」を掲載。今チェックした「チェックポイント」が実際どのように本試験で出題されたかをすぐ確認でき、実戦力も身につきます!

# 基礎・実力養成講座 使用テキスト

元祖「短期合格指導の権威」！司法書士試験を知り尽くした  
竹下貴浩執筆の司法書士受験本のロングセラー！

## 新版デュープロセスシリーズ [竹下貴浩著 早稲田経営出版]

多くの受験生が利用する、司法書士受験本のロングセラー。司法書士試験全科目の基本書です。最大の特長は、特に主要4科目において密接な関係にある実体法と手続法を一体化させ、合理的に学習できるように書かれている点が一般的な基本書とは大きく異なる点です。また、デュープロセスは初めて法律を学ぶ人にもわかりやすいよう、各テーマ別に例題があり、その例題を元に論点の解説が書かれているので、読み込み中で問題点、注意点など、学習すべき点が把握できる編集となっています。本テキストは、適切な学習方法でより早く合格を獲得して欲しいという著者の願いが込められた基本書です。



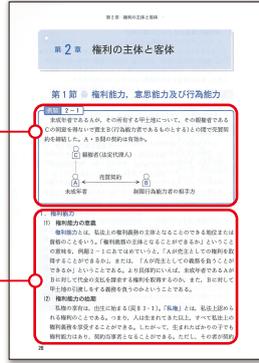
※表紙デザインは変わる場合がございます。

### 「例題」を用いた解説

初めて法律を学ぶ人にもわかりやすいよう、各テーマにできる限り例題を設け、その例題に対する解説という形で重要な制度を紹介します。

### 「用語の意義」を解説

用語の意義を示したうえで解説していますので法律を初めて学ぶ人も安心です。



### 「図表」の効果的挿入

図表を効果的に使い、複雑な法律関係もスッキリとイメージできます。

### 「補充解説」を適宜挿入

一般的な説明だけでは理解しにくいような箇所のより詳しい説明、関連して確認すべき注意事項、学習の指針等を示し、読者の学習進度に応じて、その理解を助けます。

# ブリッジ講座 使用テキスト

択一式～記述式への架け橋！  
択一式の知識を記述式に転換させながら、記述式試験を攻略！

## 択一・記述ブリッジシリーズ [竹下貴浩著 早稲田経営出版]

本書は、記述式対策用テキストですが、記述式対策のためだけの本ではありません。今後出題が予想される択一式問題の対策、さらに関連する他の科目の理解を深めていくことが本書の大きな目的です。「理論編」で択一式の問題→それに対する解説→択一式の問題をふまえた申請書の掲載という形で、記述式問題への基本的な思考方法を学習し、「実戦編」で本試験に近い記述式問題を解くことで、高い学習効果をあげることができます。



※表紙デザインは変わる場合がございます。

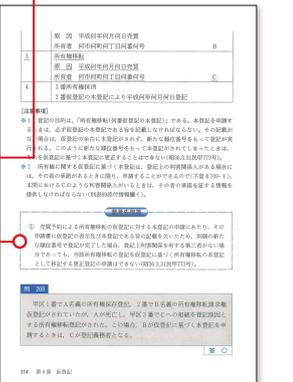
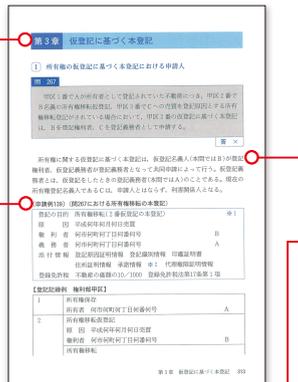
### 理論編

#### 記述式で必要となる基礎知識を確認！

各テーマの冒頭に「択一式の問題」を掲載。問題→解説(思考プロセス)→申請例・登記記録例の流れで各問をシンプルにまとめた理解しやすい構成！

#### 択一式の知識を記述式に転換させる思考方法を確認！

実体法・手続法の両面から検討し、解答を導くための思考方法を示します。



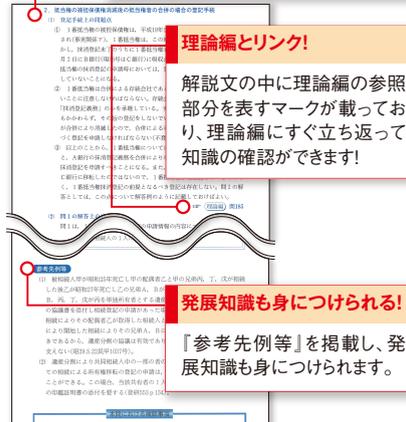
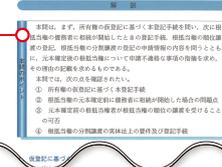
### 実戦編

#### 問題文において読み取るべき「重要ポイント」を明確に把握できる！

問題文において読み取るべき「重要ポイント」を掲載し、どのような点に問題意識を持ってよいか明確に把握できます。

#### 事件の処理方法を明示！

解説文の中で、実体上・手続上の問題点、申請書作成上の問題点などを解説し、事件の処理方法を示します。



#### 約250に及ぶ申請例を掲載！

「登記の申請例・登記記録例」を掲載。掲載された申請例の総数は不登法・商登法あわせて約250に及びます。

#### 関連する重要な先例等を「参考先例等」として掲載！

主に各テーマの終わりに、そのテーマに関連する重要な先例、判例、登記研究の質疑応答を「参考先例等」として掲載しています。

#### 「関連事項」も掲載！

「関連事項」で知識の幅を広げ、理解を深めます。

#### 「本問における確認事項」で重要論点を確認！

「本問における確認事項」で重要論点を再度確認することができます。